



私たちの暮らしに欠かせない道路。毎日、多くの車が通るため、少しずつ傷んだり変形したりしていきます。このような災害や事故につながる様々な道路の異常を発見し、安全で快適な交通を確保するために行われるのが**道路パトロール**です。

安全で快適な
道路交通のために

365 日の道路パトロール



通常パトロール

路面等を確認し、亀裂や穴は、速やかに簡易な補修をします。



魚沼地域振興局管内における道路の年間総巡回延長は約48,000km。毎日、魚沼のどこかでパトロールが行われ、私たちの安全で快適な暮らしを支えています。

夜間パトロール



定期パトロール



異常時パトロール



夜間パト：天候による路面状況や照明異常などを確認します。

定期パト：歩道や標識、排水設備などを歩いて確認します。

異常時パト：危険が予想される箇所や災害の実態等を把握します。

堀之内地域を中心にパトロールを行っている中村さんにお話を伺いました。



道路パトロールのスペシャリスト

株式会社中豊組

中村 正克さん



異常を見抜く

通常パトロールで最も注意して見るのは路面です。クラックや変形などは大きな損傷の前触れであることがあります。また、路面に空いた穴はバイクや自転車が転倒するなどの重大な事故に繋がる恐れがあります。路面の穴は発見しだい補修材で埋めるなど、確認された異常にはできる限りその場で対応します。また、雨によるガケ崩れがあれば通行止めにしたたり、動物がはねられていれば処理をしたり、不法投棄があれば撤去したりもしています。



災害を予測する

損傷や異常が起こりやすい箇所は、経験からだいたいわかります。例えば、大雨の時は、土砂の流出やガケ崩れの危険が高い場所を優先的にパトロールします。現場に行ってみると土砂が流出していることもしばしば。すみやかに通行止めにしたたり、関係者に連絡するなどの対応をとります。私たちは災害の最前線にいるという気持ちでパトロールをしています。



魚沼を守る

春先は、雪崩の兆候や消雪パイプのノズルの損傷などが目立つようになります。道路管理者である新潟県魚沼地域振興局に連絡するほか、除雪会社や修繕会社にも連絡することがあります。魚沼の建設会社でそういった連絡体制を整えており、速やかに対応できるようにしています。道路パトロールや除雪、修繕工事などは、魚沼の各地で、多くの建設会社が協力して行っています。私も含めて「魚沼を守りたい」という気持ちを持っている人たちばかりです。



壊れていた反射板を新しいものと交換。地道なパトロールが災害や事故の防止に繋がります。



「不法投棄やポイ捨ては、魚沼の素晴らしい自然を壊しています。」と中村さん。

災害を防いだパトロール

平成 23 年 1 月、道路パトロールにより、雪崩の発生が予測される箇所が確認されました。1 月 21 日から道路を通行止めにしたところ、降雪が続いた 2 月 14 日に雪崩が発生。事前の通行止めにより災害を防ぐことができました。



平成 23 年の積雪深の推移。平成 17 年以来的の豪雪に。



パトロールにより雪崩の危険性を確認する様子。



雪崩が発生した大倉沢の道路。



魚沼ならではの春先の道路の傷み

豪雪地帯である魚沼では、雪が降ると道路の修繕工事が行いにくくなります。また、私たちの暮らしを支えてくれる消雪パイプの水ですが、亀裂等にしみ込み、道路が傷む原因にもなります。一冬超えた魚沼では道路の傷みが顕著に現れます。



傷んだ側溝。土砂や粉じんが雪解け水で流れこみ詰まることも。



舗装がはがれ、穴が空いた状況。タイヤの通り道が傷みやすい。



傷んだり壊れたりした箇所は、修繕工事などを行い速やかに直しています。



壊れてしまった縁石(左)とグレーチング(右)。

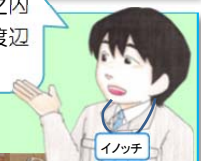
道路パトロールで安心 魚沼市原区長 渡辺 和敬さん

私たちの地域を通る国道 252 号は割と通行量が多く、たびたび道路が傷みます。そのせいもあって、路面に穴が空きやすく、その穴に手押し車が引っ掛かり、年配の方が転倒、ケガをするということがありました。幸い車が通っていない時で、大きな事故にはならなかったのですが、地域の方々に危険がおよぶと感じ、道路管理者である新潟県魚沼地域振興局に穴を埋めるなどの修繕を相談しました。

ただちに修繕工事が行われたのですが、工事はその箇所だけでなく、複数箇所で行われました。道路パトロールで損傷が繰り返される箇所や傷みやすい箇所を把握しているのだと思います。おかげで今では路面の穴はなくなり、地域の方々は安心して手押し車を利用することができます。

道路パトロール車や除雪車が通るたびに「地域を見てくれているんだな」という安心を感じます。また、消雪パイプ・流雪溝の修繕も行ってもらい、今では水量が多く除雪もしやすくなりました。冬の暮らしの苦勞がわかる行政や地元の建設会社がいるというのはありがたいことです。おかげで、昔に比べたら冬でも住みやすい魚沼になりました。あとは、若い人たちが戻り元気のある魚沼になってくれるといいですね。

以前、修繕工事が行われた堀之内原地区で、区長を務めている渡辺さんにお話を伺いました。



「地区の取りまとめ役は大変ですが、みんなのために力になれば。」と渡辺さん。



修繕工事により舗装し直された道路(周辺より黒くなっている四角い部分)。



新しくなった消雪パイプのノズル(写真上)。壊れたノズルから順番に取り替えます。

せせらぎのあと

道路脇の雪が解けて、“ふきのとう”が顔を出していました。豪雪の魚沼にも春は必ずやって来る、とても言いたそうなふきのとう。そして、そのふきのとうのおいしさをよ〜く知っている魚沼の人々。雪の試練を何度も乗り越えてきたからこそ、春の素晴らしさを知っているのですね。

発行
お問合せ

新潟県魚沼地域振興局地域整備部計画調整課

〒946-0004 魚沼市大塚新田 91-4 TEL:025-792-4071 FAX:025-792-7401

URL : http://www.pref.niigata.lg.jp/uonuma_seibi/ email : ngt111540@pref.niigata.lg.jp

